

2018年11月

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表

事業所名

スタジオplus+市川中央教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			1階エントランス部に段差がありましたが、段差プレートを設置し車椅子での移動がスムーズに行えるようにしています。室内は段差なく、移動のしやすさに配慮しています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			事例検討を含む定期的な内部研修の実施をしております。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			本アンケートと共に、保護者向けのアンケートを定期的実施し、要望や意向等を把握、業務改善へとつなげております。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			自己評価の結果は、保護者の方々にメールにてお知らせするとともに、HPIにて公開をしております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			事業所内部では、臨床心理士のSVと読み書き支援の専門家のSVにきていただき、月に2回スーパーバイズを実施しております。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		<input type="radio"/>		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			利用者の意見を聞きながら、プログラムが固定化しないように工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			長期休暇中や中高生に対しては、利用者と保護者と相談しながら状況に応じた柔軟な対応を行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		<input type="radio"/>		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		<input type="radio"/>		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		<input type="radio"/>		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			日々の蓄積した利用者の情報をもとに、振り返りを行っています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		<input type="radio"/>		「地域交流の機会の提供」としては、地域への外出活動は実施しておりますが、地域の団体等との連携や交流は実施することができていないため、今後実施できるよう、他機関連携や関わりを模索しているところとなります。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>			サービス担当者会議が実施される際には児童支援発達支援管理責任者が参加する対応をとっております。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		<input type="radio"/>		学校との情報交換は、保護者を経由したやり取りとなっておりますが、事業所からの情報提供を行っております。今後、直接的なやり取りも実施していけるよう体制を整えていきたいと考えております。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要なお子さんを現在受け入れておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			○	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか			○
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○	送迎時での相談とともに、電話による相談や事業所への来訪による相談を行い、保護者に向けて必要な助言や支援を行っております。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今年度は、2018年4月に保護者会を開催し、保護者同士の交流する機会を設けました。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			○	保護者への定期的アンケートを実施し、サービス等に関する要望や意見を聴取し、迅速に対応できる体制を整えております。苦情窓口については、利用契約時に説明を行なっていますが、今後、事業所内に苦情窓口の掲示を準備する予定です。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	
35		個人情報に十分注意しているか			○	
36		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか			○	
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域性を活かしたプログラムの実施は行っていますが、地域住民を巻き込んだ催しは実施できません。
非常時等の対応		38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	利用者を交えた避難訓練の実施を検討していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			○	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	重度の食物アレルギーがある際は、初回面談時において確認を行っております。また、活動内で飲食を行う際は保護者への確認を事前に必ず実施しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有し、指示書に基づく対応がされているか			○	ヒヤリハットの記録と事業所(法人)内での共有を行っております。